

経済政策論		講義	教授 岡野 武志	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの選択必 修科目	科目ナンバリング	23221203	

1. 授業のねらい・概要

経済政策を考える際には、財政や金融、産業政策だけでなく国民の生活から環境問題に至るまで、幅広い領域を視野に入れる必要がある。この講義では日本の経済政策の枠組みを概観し、日本経済が直面している課題とその対応について、さまざまな視点から考察することで、社会で活躍する力量を高めることを目的とする。

2. 授業の進め方

事前に提供または指定された資料等を予習していることを前提に、授業では重要なポイントの解説や関連事例等についての考察を重視し、テーマについての質疑応答やディスカッション等も積極的に行う。また、理解の定着と考える力の向上を図るため、各回授業の終了後に小レポートを課し、その結果を成績評価にも反映させる。

3. 授業計画

1. イントロダクション / 経済政策の概観	9. 国際収支と外国為替
2. 歳入と歳出	10. ICTの発達と経済政策
3. 政府支出と公共事業	11. 地方自治と地方創生
4. 少子高齢化と社会保障	12. 自由化と民営化
5. 物価・雇用・賃金	13. 外部経済と規制・制度
6. 人口減少と働き方改革	14. ルールとプリンシプル
7. 科学技術政策とイノベーション	15. 総括 / 社会経済活動と経済政策
8. 経済成長と金融政策	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各回の授業を受講する前に事前に提供または指定された資料を予習し、関連する事項やニュース等を調べておくこと。授業終了後には授業で取り扱った内容を振り返りながら小レポートを作成・提出するとともに、関心を持った事項等について掘り下げて理解を深めること。これらの予習・復習等には、それぞれ2時間以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小レポート及び期末レポートの趣旨や課題については授業の中で説明する。

6. 授業における学修の到達目標

日本経済の現状と課題を理解し、それらに対応する政策について自分なりの意見を持ち説明することができる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（小レポートへの評価を含む：60%）と期末レポートの評価（40%）を総合して評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書は指定せず、各回の講義に用いる資料は会場で表示する。参考文献等は必要に応じて授業内で紹介する。

9. 受講上の留意事項

新聞やTV番組、インターネット上の情報等を活用し、日頃から社会経済に関連する事項に関心を持つこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。この授業は金融機関，経営企画，調査研究（シンクタンク）等における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。